

1 岐阜都市計画駐車場の概要

岐阜都市計画駐車場第1号岐阜金公園地下駐車場は、かつては業務及び買物等による自動車の駐停車が甚だしかった中心部の柳ヶ瀬エリアに位置し、昭和43年に都市計画決定され、昭和44年に供用を開始しました。その後、昭和57年、昭和61年に都市計画変更し、現在は計画面積約9,300㎡のうち、約1,800㎡、73台分が未整備となっています。

岐阜都市計画駐車場第2号岐阜金町地下駐車場は、昭和61年に都市計画決定され、金公園地下駐車場と接続する形状で金華橋通りの地下に計画されており、全区域385台分が未整備となっています。

自動車交通量の増加に伴い、都市計画変更・決定を行いました。その後、都市計画駐車場の整備は行われていません。

2 駐車場を取り巻く環境の変化

▶自動車交通量の減少 (H23→R17推計)
131.7万トリップ → 123.4万トリップ

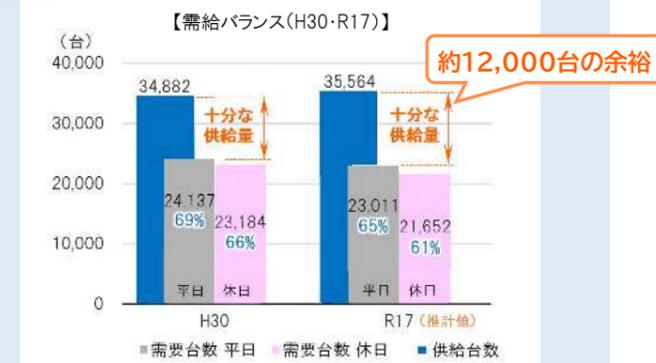


▶中心市街地の大型店舗の動向 (H11→R6)
9店舗の大型店舗が撤退

▶駐車台数の推移



▶需給バランスの見通し



▶▶ 今後、駐車場の需用は減少し、供給量の充足が見込まれる

こうした駐車場を取り巻く環境の変化や将来の見通しを勘案して、中心市街地における駐車場の課題に対応した駐車場施策を推進するため、令和5年3月に岐阜市駐車場整備計画の改定を行いました。

3 都市計画変更の必要性

駐車場整備計画の改定(令和5年3月) 済

【基本方針】

□ これまでの量的整備から、供給量や配置の適正化、利便性の高い駐車施設など、質的な整備を図る「量」の適正化及び「質」の向上

駐車場整備地区の見直し…令和5年3月都市計画変更(約363ha→約155ha) 済

附置義務駐車場条例の見直し…令和5年10月条例改正(周辺地区廃止、設置台数の基準緩和等) 済

柳ヶ瀬グラッスル35のオープン、金公園の再整備、道路空間利活用社会実験等の状況を確認

都市計画駐車場の変更…社会情勢の変化や駐車需要の動向などから区域の縮小、廃止 今回

人口減少や少子高齢化の進展に伴う自動車交通量の減少や中心市街地の大型店舗の撤退などに伴い、駐車需要が減少する一方で、低未利用地を利用したコインパーキングなどの時間貸駐車場が増加
▶平成30年の現況調査では、需給率約69%と十分確保
パーソントリップ調査を活用した推計の結果、令和17年における駐車場の需給率は約65%
▶約12,000台の余裕が見込まれ、未整備分458台(73台+385台)は充足すると予測
このように、将来にわたり駐車場が十分確保される見通しが立っていることから、長期未着手となっている金町地下駐車場を廃止し、金公園地下駐車場は現在の供用区域に変更する

4 都市計画変更案の内容

- 金公園地下駐車場 未整備区域 → 都市計画駐車場区域から除外 現在の供用区域に変更
- 金町地下駐車場 全域未整備区域 → 廃止

変更	名称		変更内容	
	番号	駐車場名	面積	備考
前	1	岐阜金公園地下駐車場 S43.12.28当初	約9,300㎡	駐車台数218台、出入口4か所
後		S57. 3.31変更 S61. 7.28変更	約7,500㎡ (供用区域に変更)	駐車台数145台、出入口3か所
前	2	岐阜金町地下駐車場 S61. 7.28当初	約13,100㎡	駐車台数385台、入口1か所
後			廃止	

5 都市計画変更の手続き(予定)

